

政務三役と統一協会癒着統々

〔国会で論及された主な政務三役と統一社会の運営にかかるる府省〕

議員名	役職	深刻な憲著の実態
大串正樹	デジタル 副大臣	昨年の総選挙時に「政策協定」に署名。推薦状を受け取る。
山田賛司	外務副大臣	昨年の総選挙時に「政策協定」に署名。「内容をよく確認せず署名した」と発言。
木原誠二	官房副長官	昨年の総選挙時に「推薦状」を受け取る。
井野俊郎	防衛副大臣	統一協会の関係者が後援会「俊世会」を設立。

西間する本村伸子謹賀
二月、宿院法務局



質問する塩川鉄也議員
第4回、衆院内閣委



A black and white photograph of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a light-colored shirt, and a patterned tie. He is seated at a desk, looking slightly to his right with a thoughtful expression. His right hand is raised, palm facing forward, as if he is in the middle of a conversation or giving a speech. The background is dark and indistinct.



道(10月25日)後、自由党で常任審議會が開かれるといふ。野党的過激な「政策協定」に驚いたと認める政治家は続出している。

統一協会のダニ一族と自民党議員が結んだ推薦確認書

西日本新聞が統一協定の第一回会議で、推進協議会を設立したが、「協定」をめぐらしくては議論が進むことにならなかった。そこで「協定」はなく、「政策協定」である推進協議会を交換して、二回目の会議が開催された。

「政策協定」に署名次々

國会での日本共産党や野党の連々と通じ、統一協定（世界平和統一家庭連合）と岸田文雄政権の政務三役（大臣、副大臣、政務官）との新たな癡情の発覚が相次いでいます。任命権者として岸田首相の責任がきびしく問われます。（伊藤義泰）

「政策協定」は内政干涉の實を生じます。その過
程で、賃者側が統一協会との
重大な疑惑でもあります。大串正樹・シタル葉内閣
対、日本共産党への敵対な
ことが盛り込まれています。府副大臣も10月26日の衆院
同性婚への賛成姿勢などは基
博士労働委員会で、「政策
的的人権の不当な制約や憲
協定」などとしとを告
さむして聞かれます。

岸田首相問われる任命責任

法改定などについて、「案」。大典氏は消費行政を

11/17多種

任命以後の接点も判明

日本共産党的論戦で明らかになつた新事実もあります。山縣抱眞の専門外交が、副大臣就任以後も続かれていたことが判明する。防衛委員会(1月1日)の追及で、井野俊郎防衛副大臣が知りながら後援金(数億円)を在継させていたことが判明する。

政務三役は、最後の閣議を
持つて、大臣として岸田内閣相
は雷鳥の音がしと責任を持
たれ、辞任せざるべくある。し
かし、岸田内閣相は、個々
の問題やその対応に終始して
いた。政策協定の締結に関して
は、岸田内閣は1月20日の参院
予算委員会で「実態を把握
する」として、努めてこぎた
ことと審査してしまった。

金と無反応は、政治家があらわ
しめたる不思議な現象である。
これが、統一協定の深刻な発達に
始める対応は許されませ
ん。

共産党憲法の立場から追及

したと認め、日露戦報報道と正面からたたかい統一戦線によって法律違反道筋も受け、「遅闘記」にて発表した。統一戦線は断罪されていました。この活動も日本国憲法の改憲や拡大してきました。改憲や根柢的な問題があるか。」と保護された思想・良心のジェンダー平等への敵対

井田昌徳は「在途以後、歴史的な問題を政府自民党が見失つたならば、党的責任で徹底調査を求め、閣僚をはじめそれぞの役員を追及していかねば」と述べました。統一協会と政治界との関係を改めて語ったのです。

お話をうかがふと述べて、新潟の問題を触ひ、的論を「指揮官の立場」との発言を「構する」といふまじめ。日本は、日本の政治と社会が、日本で保護された国連の基盤上に位置する。それは、反共・反動の路線問題です。本的人権を守り抜くたかは、「いかに日本が平和と民主主義を守らぬか」が、その核心なのであります。

個々の対応任せに終始

がお後援会を発起させてき
たとして辞任を要求。井野
は「國體衛生以降は理論
を立ててから」ないし辞
任を拒めしめた。
——後援会日本（成田山）
——

の設立メンバーが統一協定
散らす拒否。木原宣慶（新規
関係者たる難波した木原誠
直は、塩川正の道徳で統一
した。）

二重國體論が塩川鉄也、傍聴のタマー団体「世界平
和連合」から推進状を發行
院内閣連合の反対、「解
散せばだれとも明らかに
なりじます。